※令和４年度以降入学生用

学校番号	１１１

令和５年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術表現	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書							
副教材等	自主教材プリント						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・美術の基礎である色彩や表現技法について学びます。
・多様な表現に触れることで自己の個性に合った表現技法を模索し、自己探求を深めることを目標とします。
・自他の作品を鑑賞し合評することで他者の感性や表現に触れ、自他の違いやそれぞれの美しさを素直に認め味わう心を養うことや、達成感を味わい、美術を愛好する心情を育てることをめざします。

２　学習の到達目標

美術の幅広い活動を通して、美術に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や工芸、伝統や文化と幅広くかかわる資質・能力を次のとおり育成することをめざす。
・色彩や透視図法などの表現技法、版画の技法や立体作品制作の技法について学習し理解を深める。鑑賞等によって様々な表現方法に触れて理解するとともに、意図に応じて創意工夫し、表現できるようにする。
・自分なりに制作のイメージをまとめて計画を立て、造形的なよさや美しさを考えた主題を生成し、創造的に表現できるようにする。
・主体的に創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、伝統と文化に親しみ、美術を通して心豊かな生活や社会を創造していく。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・色彩の基礎や多様な表現技法について幅広く理解している。 ・基礎的な技能を身に付け意図に応じて創意工夫して表現している。	・自分なりに制作のイメージをまとめて計画を立て、造形的なよさや美しさを考えた主題を生成し、創造的に表現できるようにする。	・主体的に美術の創造的な表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。 ・他者の作品のよさや美しさを素直に認められる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	写真から描く風景	・色彩の学習や遠近法について学習し、風景画の多様な表現を鑑賞し、その美しさについて理解を深める。 ・自分で風景の写真を撮り、色彩や画面構成など効果的な表現を考え、制作に取り組む。	a:遠近法や色彩の基礎について理解している。また、遠近法を用いて表現できている。 b: 写真を撮るにあたって効果的な画面構成をしている。 印象的な作品にするために適切に画面を構成し、色彩を選択できている。 c: 自分の言葉で表現したかった風景を解説しようとしている。	ワークシート 作品	写真 作品	授業 観察 ワークシート
	ランプシェード制作	立体作品制作 ・色々なランプシェードの画像を鑑賞し、伝統的な工芸品に触れるとともに灯りのデザインについて考え、自分なりの主題を生成する。 ・制作計画を立てて立体制作の見通しを持ち、伝統工芸で扱う和紙や籐を素材にして制作を行う。	a: 籐や和紙、針金など扱う素材の特徴を理解している。また、道具を適切に扱って制作を行っている。 b: 伝統工芸品のよさや美しさ、灯りの持つ意味やデザインについて自分なりに考え、主題を生成し、表現することができる。 c: 色々な作品や技法に関心を持ち、主体的に制作に取り込もうとしている。また、制作を通して発見したことを自分の言葉で表現しようとしている。	ワークシート 作品	ワークシート 作品	授業 観察 ワークシート
後期	多色刷り版画	「年賀状」 ・版画の表現技法について学習し、多色刷り版画の特徴について理解する。 ・年賀状について理解し、伝統的にめでたいとされる事物や図柄を調べ、自分なりに主題を生成して制作を計画する。 ・自分の計画に基づいて木版を制作し、多色刷りを行う。 ・自他の作品を鑑賞し、互いのよさや違いに気づく。	a: 版画の制作手順や多色刷り版画の特徴について理解している。また、見当や道具を適切に扱い、美しく刷り上げることができる。 b: 年賀状というテーマや自分で設定した主題に基づいて計画を立て、制作することができる。また、より良い表現になるように工夫することができる。 c:細かいところまで気を配り、主体的に丁寧に制作をしている。 c:自分の作品のよさだけでなく、他者の作品についてよさや美しさに気づこうとしている。	ワークシート 作品	ワークシート 作品	授業 観察 ワークシート 作品

※令和４年度以降入学生用

	表現技法の学習	・アクリル絵の具の様々な表現技法について学習し、試作する。 ・試作した作品を使ってコラージュ作品としてまとめる。	a: アクリル（水彩）絵の具の表現技法を理解し、試作によって技能を習得する。 b: 様々な表現技法の特徴を把握し、自分なりの表現を工夫してまとめている。 c: 主体的に取り組み、試作を重ねている。	作品	作品	授業 観察 作品
	表現技法の花	・表現技法を使った立体もしくは半立体の制作について計画を立てる。 ・花をテーマに構成要素を鑑賞し、自分なりの主題を生成し、完成のイメージを表現する。 ・必要な素材を検討し、制作を行い、作品として組み立てる。 ・自他の作品を鑑賞し、よさや美しさを味わう。	a: 表現技法の特徴を理解し、作品に取り入れている。 b:花の構成要素から必要な素材や効果的な表現技法を考え、自分なりに主題を生成し、表現することができる。 b:立体的な表現とは何かを考え、自分なりに制作に取り組むことができる。 c:題材の選定、作品の構想、完成に至る創作活動について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。互いの作品を鑑賞し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。	ワークシート 作品	ワークシート 作品	授業 観察 ワークシート 作品

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度